

第4回 宍粟市千種幼保一元化協議会次第

日 時 平成25年12月19日(木)
午後7時～
場 所 センターちくさ 4階 大ホール

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項等

* 認定こども園先進地視察の報告及び意見交換

* 部会における協議について
・各部会に分かれての協議

◆総務部会 場所：

◆幼児教育・総務部会 場所：

◆環境整備部会 場所：

4. その他

* 次回開催日程と内容について

次回開催日

平成 年 月 日 () 時 分～

5. 閉 会

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回宍粟市千種幼保一元化協議会	
開 催 日 時	平成25年12月19日（木）午後7時00分から午後9時10分	
開 催 場 所	センターちくさ 中ホールほか	
議長（委員長・会長） 氏 名	越嶋唯夫	
委 員 氏 名	（出席者）磯崎伸彦、大橋香奈、 鎌田由佳、柳谷 官、春名千里、 小野嘉昭、山田沙織、平田恭子、 岡 徳子、春名英代、田住 学、 阿曾茂夫、奥田香里、春名寿一、 鈴木正敏	（欠席者）日平和宏、上山勝己、 清水精一
事 務 氏 局 名	教育委員会事務局：岡崎部長、楳谷次長 こども未来課：田村課長、森本副課長、中川副課長、福井副課長、 山内主査	
傍 聴 人 数	13名	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	<p>（議題及び決定事項）</p> <p>1 協議会は、幼児教育・保育検討部会から報告のあった「教育及び保育の質を確保するための方策」に基づき、協議を進めていく。</p> <p>2 認定こども園先進地視察に関する意見交換（各部会）</p> <p>3 各部会の協議事項等について</p> <p>（1）総務部会 認定こども園における年間行事について</p> <p>（2）幼児教育・保育部会 視察先の認定こども園を基に、今後の経営方針及び方向性について、どのように進めていくか</p> <p>（3）環境整備部会 千種認定こども園（仮称）の図面について</p>	

(会議の経過) 第4回宍粟市千種幼保一元化協議会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>一点、報告させていただく。第2回協議会の中で、千種小学校東側、河川敷の通学路について、「危険だから何とか対応できないか」という話が出ていたかと思う。事務局や市土木部が現地確認を行い、平成26年度予算で対応ができないか、現在、事務調整をしているところである。道路の拡幅といった抜本的な改良となれば、地域との調整や用地取得などに時間を要するので、通学路の安全確保の観点から早急に対応できるよう、河川への転落防止となるような策を講じたいと思う。</p>
事務局	<p>前回の協議会で、幼児教育・保育部会より千種幼稚園長経験者の参加を求める意見があったが、今回から元千種幼稚園長が同部会に参加していただくことになったのでお知らせする。</p>
会長	<p>「3. 協議事項等」に移る前に、幼児教育・保育部会から報告事項があるので願います。</p>
委員	<p>11月7日に3回目の幼児教育・保育検討部会を行ったので、報告する。教育及び保育の質を確保するための方策について、具体的に「どのようなことを整備し、準備していかなければならないのか」を話し合い、資料のとおり9項目をまとめた。(資料「第3回幼児教育・保育部会のまとめ」の朗読) これらは、運営主体である千種杉の子保育園の体制を「今後、どのように向けていくか」を進めていく中で、大切な点になってくるかと思う。今の時点では、特に「②保育部と幼児教育部のそれぞれの職員の資質向上に向けた園内外の研修の機会を確保するために、職員体制の充実(適正な職員の配置)を図る」については、職員の研修時間を確保できるよう、バックアップ体制がとれる職員の配置を考えられるかどうか重要であると思う。千種杉の子保育園の考え方が聞ければ、次の具体的な協議に移れると思う。</p>
会長	<p>幼児教育・保育部会から第3回部会の報告があったが、質問等はないか。内容的には各部会とも関連するところもあるかもしれないが、協議会としては、まとめていただいた内容で進めていく方向でよろしいか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
会長	<p>それでは、千種杉の子保育園から報告事項があるので願います。</p>
委員	<p>幼児教育・保育部会からの意見を受け、千種杉の子理事会(以下、理事会)から回答をさせていただく。「ガイドライン」の中にある「幼児教育の担任制」とおり満3歳児以上の短時間利用児及び長時間利用児については、共通利用時間において3、4、5歳児それぞれ学級担任を配置し、保育部と幼児教育部を分けて行いたい。研修については、現状では、時間を確保することに苦慮しているが、市からの助成が受けられるとのことなので、それらを活用し、しっかりと研修を行いたい。また、保育要領等については、市と擦り合わせしながら進めている最中なので、近日中には、ひな型ができる予定である。平成25年度から、千種町内の校園長会にも出席させていただいており、小学校との連携も行っていきたい。第三者評価等についてだが、評価が受けられる体制を整えていきたい。以上、報告させていただく。</p>
会長	<p>幼児教育・保育部会から報告のあった9項目について、理事会の中で承認が得られたということか。</p>
委員	<p>お見込みのとおり。</p>

会長	何か質問等はないか。理事会の報告の中で、職員体制の話が出たが、そのことについて事務局、何かないか。
事務局	実際の職員配置については、予算が議会の承認を得てから初めて効力を発することになる。事務局としては、「ガイドライン」「認定こども園における教育・保育の質の向上・充実のためのしくみ」の中で、研修のため職員配置に努めると謳っているので、その予算獲得に向けた努力をするとともに、千種杉の子会と協議を進めていく中で、十分な配置ができるよう努めていきたいと思う。
会長	何か意見はないか。ないようなら、部会に分かれる前に、先日の先進地視察の報告及び意見交換に移らせていただく。19人中、15の方が視察されたが、皆さん一人ひとり意見を聞いたら、時間が足りなくなるので、何人かの方に意見を伺いたい。続きは部会の中で、学んだことを出し合ってもらい、千種の「認定こども園」に、どのように活かすか、を話し合ってもらえれば。 (会長の指名により2人が発表)
委員	環境整備部会の立場で視た。保健室の中で部屋が隔離され、細かい配慮がなされてあったので感心した。そのようなことを今後、進めて行きたいと思った。
委員	総務部会としては、今まで協議してきた中で、送迎車や部屋の配置等を確認した。部屋については、園全体を見通したうえでスペースを持っていただくことは非常にいいことだと思う。例えば、職員室は玄関から近い場所に、保健室は内部でできるだけ人との接触のない部分に配置するなど、配置場所については、今後、話し合っていけば。1歳児から3歳児の保育室の中にトイレがあった。この年代の子どもは、生活をするうえで大事なことだと思う。
会長	一人ひとりの意見を聞いたら良いのだが、この後は部会で、それぞれ意見や感想などを出し合って、話し合いをしてもらいたいと思う。 (各部会に分かれて協議)
会長	どの部会も時間が足り苦しい状況で話し合ってもらったと思うが、協議した内容について、簡潔に報告を願いたい。
委員	総務部会では、園行事、認定こども園の先進地視察の意見交換及び千種認定こども園（仮称）の図面について、三点を話し合った。継続協議であった園行事について、前回も話したが、やはりカリキュラムとの関係が非常に大きいため、「カリキュラムができた上での行事になるのではないか」ということである。今、カリキュラムのない中で行事ばかりを先に決めても、逆に制限ができてしまい、現場の中で動き難くなってしまふ。カリキュラムができあがった上で、現場の裁量で実態に応じた行事を、その時々につけて進める方が一番いいのではないかと、思う。よって、行事は、今の段階で「それ以上のことについては、話し合わなくていいのではないかと」なった。視察についてだが、視察先の認定こども園で、登園前などに職員研修を行っているらしい。それはとてもいいことだが、「明日の準備に時間が足り苦しい、難しい」という話を聞いた。その上で、千種の認定こども園運営は、幼児教育・保育部会と同様に「保育部と幼児教育部の完全2部制の方がいいのではないかと」という話しになった。ただし、視察先での問題点は、解消するかもしれないが、早く帰る職員、遅くまで残る職員がいる中で、職員間の連携が難しくなるかもしれない。そのためにも、定期的に職員を保育部と幼児教育部に配置換えするなど、それぞれの業務を全員が精通していけるようなかたちにしていけば、職員同士のコミュニケーションも上手くやっていけるのではないかと、思う。そのような意味で、

	<p>しっかりとした人員の確保や配置ができるようお願いしたい。また、市は、担い手だけでは難しいので、財政的な支援をしっかりとしていただきたい、との意見が出た。千種認定こども園（仮称）の図面について、環境整備部会で検討がなされ、修正がされたものであると事務局から聞いたが、その中から二点、意見させていただく。図書館の玄関先に風除室があるが、認定こども園側の入り口にはなかった。玄関先にひさしがないようだが、降った雪が積もり、その中を子どもが歩くとなると危ない。また、風除室が無ければ、冷たい風が園内に直接入ってくる。健康管理や衛生面から考えれば、風除室はあった方がいいのではないかと、という意見も若干あった。最終的には、環境整備部会で検討していただければいいと思う。以上、報告させていただく。</p>
委員	<p>幼児教育・保育部会では、視察先の認定こども園と、それを参考に「具体的に、どのように進めていくか」の二点を協議した。それらをまとめると、視察先の認定こども園は、経営方針や方向性を、しっかりと持たれていたもので、それを参考に「千種認定こども園（仮称）の園経営は、どうあるべきか。どのように求めていくべきか」を、はっきりとした上で方針を決め、年度内にカリキュラムづくりをしなければならない。そして、開園後は、認定こども園を運営しながら検証を行なっていかなければならない。具体的には、子ども同士の交流、職員の研修、保護者が行事参加する機会など。その中身については、次回、協議できれば、と思う。</p>
委員	<p>環境整備部会では、先進地視察を終えての意見交換と、それを基に千種認定こども園（仮称）の施設整備について、図面を見ながら協議を行った。図面は、事務局からの説明を受け、視察先の認定こども園のいいところを取り入れられるかどうかも含め協議を進めた。建物面積について、事務局から当初予定した面積から約 140 m²大きくなったと報告を受けた。遊具については、今後、検討していくことを確認。最初にも話が出たが、視察先の認定こども園では、保健室の中で隔離した個室があったので、千種認定こども園（仮称）でも、図面どおりの規模でいいから、何とか保健室の中で隔離できる部屋が設置できないかを、事務局に検討をお願いした。また、玄関についても、雨天時に子どもを抱えて車を乗降するのは困難なので、乗降しやすいよう何とかならないか、再検討をお願いした。以上、報告する。</p>
会長 委員	<p>部会からの報告について、何か質問等ないか。 一点、質問させていただく。認定こども園の要件の中で、子育て支援機能があるが、エーガイヤとの機能整合について、今後、検討していくことでいいのか。</p>
会長 委員	<p>このことについて、総務部会はどうか。 例えば、認定こども園に子育て支援機能を集約し、そこで新しいかたちでやっていくのも一つの手法ではあるが、今後の検討課題ではないかと思っている。</p>
委員	<p>今のところ、エーガイヤで十分な機能を果たしていると思う。今後、擦り合わせをしていけばいいのではないかと思う。</p>
会長 委員	<p>子育て支援については、今後、検討することでよろしいか。 (異議なし)</p>
会長	<p>他に質問はないか。ないようなら、これで終わりにする。</p>
事務局	<p>次回の開催日程と内容については、会長と相談し、後日、通知させていただく。</p>
会長	<p>それでよろしいか。それでは閉会する。</p>

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。